

したものです。]どこかに遊びに連れて行ってほしいな」と思いながらも、職人気質の父の背中を見て育ちました。

—お墓造りには色々な技術が必要ですよ？

織田さん・・当店の墓石は山から切り出された荒々しい岩のような原石を自社で切断し削って形を整え、磨き上げた後、文字を刻みます。どの工程も技術が必要ですが、同じように手間と



親子で共同作業。石塔のてっぺんは、より丁寧に磨きます。



今回の AKINDO

織田石材店

織田 喜一さん(64歳)

趣味：美味しいお酒を飲むこと  
熱帯魚の飼育

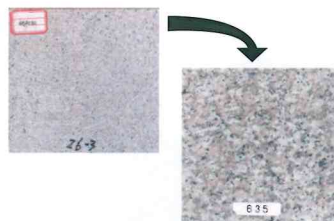
加茂でがんばる素敵な商売人 (AKINDO) をご紹介します!

大正初期から百年以上続く、加茂市で唯一の石材店「織田石材店」三代目の織田喜一さんにお話を伺いました。

—半纏がとってもお似合いですね。このお仕事をされて、どのくらいになりますか？

織田さん・高校卒業後すぐに石職人だった父親に弟子入りし、今年で47年が経ちます。修業を積んで、ようやく独り立ち出来そうだった頃、父親が急逝し、私は33歳で三代目の店主になりました。あまりにも急なことでも不安もありましたが、5歳年下の弟と一緒に無我夢中で働いてきました。現在は私の息子も加わり、3人でお墓の製造から施工、補修等を行っています。

—織田さんの師匠でもあるお父さんは、どんな方でしたか？



きめ細かく磨き上げ、光沢ある美しい石材に仕上げます。

織田さん・「どこに出しても恥ずかしくない墓を造れ」「石塔のてっぺんは人間の頭と同じだから特によく磨け」。そんなふうに言いながら、人一倍強いこだわりを持って、朝から晩まで休む暇なく熱心に働いていました。私も幼い頃から現場に連れていかれ、道具を運んだり片付けをしたり

根気も必要。奥が深く日々勉強です。

—織田石材店のお墓はここが違うというところを教えてください。

織田さん・近年はコスト削減を理由に中国で加工された石材を使った。建てるだけのお墓が主流になってきていますが、当店では県産、国産の原石を自社加工して造ったお墓の方が、お客様に多く選ばれています。お墓に刻む文字や書の筆使いを再現するため、彫りの深さに強弱をつけるなど、細部にこだわって仕上げています。

—最近ではお墓のリフォームなどの依頼が増えてきているそうですが？

織田さん・はい、当店でもお墓の建て替えや移転、リフォームなど様々な依頼をいただくようになってきました。お墓の磨き直しをされたお客様からは「うちのお墓だと思えない程きれいになった！」と感激していただいたこともあります。お墓は、磨き直しや修繕で長持ちさせられますので、どんなことでもお気軽にご相談ください。

—これからお墓の購入を考えている方に、アドバイスはありますか？

織田さん・お墓は家族で引き継いでいく大切なもので、購入するのも一生に一度あるか無いかですよ。最近では「お墓はこうでなければいけない」という決まりは無くなってきた選択肢も

増えています。だからこそ、私達はお客様のご要望を整理して一緒に考え、本当に満足するようなお墓を建てていただきたいと思います。

—ありがとうございます！お酒が大好きな織田師匠、これからも元気に、織田石材店の伝統を受け継いでいってください。

## 織田石材店

住所：加茂市仲町2-20  
TEL：0256(52)4429  
営業：8時～18時  
定休日：不定休

